

地域の普通科系高校魅力向上支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等			[福井県教育振興基本計画]				
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>本県高校生の学習時間（1日平均1時間未満が約5割）や読書量（1か月平均1.64冊）が課題であり、一人ひとりが個性を發揮し挑戦する人材の育成が必要。全県1学区制に移行後（H16）は、広範囲の地域から福井市内の県立高校や私立高校に通学（坂井37%、奥越20%）し、地域の高校では欠員が出ている。</p>												
<p>[事業目的]</p> <p>高等学校を「地域の高校魅力化推進校」に指定する県立高校において、学校独自の教育課程の検討や、生徒主体の教育活動などの学校改革に取り組み、生徒から選ばれる高校づくりを推進する。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>○その高校でなければ学べない特色あるカリキュラム等の実施に向けた検討 対象校：地域の普通科系高校3校（足羽高校、勝山高校、武生東高校）</p>												
[受益者] 対象校の生徒						[想定される受益者数] 約1,200人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

地域の普通科系高校魅力向上支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	8,202					8,202								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						8,202								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	地域の高校3校の出願倍率 (目標) 実績					(0.90)	(1.00)	(1.00)						
活動指標	指定校採択件数 (目標) 実績					(3)	(3)	(3)						
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

地域の高校の自習室夜間開放事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題]												
<p>本県高校生の学習時間（1日平均1時間未満が約5割）や読書量（1か月平均1.64冊）が課題であり、一人ひとりが個性を發揮し挑戦する人材の育成が必要。全県1学区制に移行後（H16）は、広範囲の地域から福井市内の県立高校や私立高校に通学（坂井37%、奥越20%）し、地域の高校では欠員が出ている。</p>												
[事業目的]												
<p>高校生が主体的に勉強できる環境を整備して、学習時間増を目指すとともに、地域の高校の魅力向上を図る。</p>												
[事業内容]												
<p>○自習室の夜間開放</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開放時間を21時まで延長（現在は18時30分） ・警備員の配置時間延長または非常勤講師等の配置により対応 ・実施校：羽水高校、金津高校、丸岡高校、大野高校、鯖江高校 												
[受益者] 対象校の生徒						[想定される受益者数] 約2,900人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・自習室会場として、一部市町より会議室を無償提供					他県の状況						

地域の高校の自習室夜間開放事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度	
事業実施方法	直営、委託											経過年数			1 年
補助率	0														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	2,861				2,861										
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移						2,861									
2月現計予算額の推移															
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	地域の普通科系高校12校を志望する中学生の割合 (目標) 実績					(40.1%)	(44.0%)	(46.0%)							
活動指標	自習室の利用率 (目標) 実績					(100)	(100)	(100)							
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価							
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

中高一貫教育校検証事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題]												
併設型中高一貫教育校のこれまでの取組みを検証し、今後の方向性を検討する必要がある。												
[事業目的]												
平成27年度に本県初の併設型中高一貫教育校として開校した高志中学校の一期生が令和2年度末に高志高校を卒業することから、6年間の取組みと一期生の進路実績を検証するとともに、今後の中高一貫教育校の方向性について検討する。												
[事業内容]												
○中高一貫教育校検証委員会の開催												
・委員 有識者、保護者代表、教育関係者 等												
・検討内容 ①6年間の中高一貫教育の総括 ②教育目標、教育内容、高志学の取組み、一期生の進路実績等を検証 ③今後の併設型中高一貫教育校の方向性について検討												
・目標 併設型中高一貫教育校検証委員会から提言を受ける												
[受益者] 併設型中高一貫教育校および連携型中高一貫教育校の生徒						[想定される受益者数] 約900人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

中高一貫教育校検証事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	直営											R3 年度		
補助率	-											経過年数 1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	653				653									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						653								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	中高一貫教育校検証委員会からの提言 (目標) 実績					(6月)								
活動指標	中高一貫教育校検証委員会開催回数 (目標) 実績					(3回)								
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

地域との協働による高等学校教育改革推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課		課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政 策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]								
[解決すべき問題・課題]															
新学習指導要領を踏まえ、Society5.0を地域から分厚く支える人材の育成に向けた教育改革を推進する必要がある。															
[事業目的]															
県立高等学校が自治体、高等教育機関、産業界等と協働して、地域の課題を発見・解決する取組を推進することで、将来地域を支えるリーダーとなる人材を育成するとともに、地域振興の核としての高等学校の機能強化を図る。															
[事業内容]															
○地域魅力化型 対象校：鯖江高校、三国高校 内 容：(鯖江高校) 地域と協働し、鯖江市の地域資源を発信するデジタルパンフレットの作成等を通じて、地域への愛着を持った地域の未来を担う人材を育成 (三国高校) 多様かつ複雑な地域課題を解決するための街づくりを推進し、地域で生きる人々が生き生きと暮らす活力を創出する人材を育成															
○グローバル型 対象校：丸岡高校 内 容：短期留学生受入れや海外研修を実施し、地域活性化策を実施することで、グローバルな視点を持ち地域振興に資する人材を育成															
○プロフェッショナル型 対象校：科学技術高校 内 容：地域の関係企業と協働して企画・提案・設計等を行う科技ラボを通して、変化する社会に適応し地域産業を牽引する技術者を育成															
[受益者] 対象校の生徒						[想定される受益者数] 1,816人 (R2年度)									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール (SPH) 事業 (実績) 若狭東高校 (H27～H29) 薬用植物の産地化や植物工場などの高度な施設園芸を取り入れ、生産から調理・加工・販売までを実践する独自の学習プログラムを実施					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

地域との協働による高等学校教育改革推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	-					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	12,400	12,400					0 地域との協働による高等学校教育改革推進事業委託							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				7,314	19,500	12,400	採択実績に応じて、事業費を減額							
2月現計予算額の推移				7,314	15,500									
決算額の推移				6,104										
前年度までの 主な増減理由	令和2年度は申請校が増加したため、事業費が増加した。													
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	高校生による地域貢献活動数	(目標)		(9)	(9)	(9)	(9)	(9)	本事業は、生徒による地域課題の解決を図ることで将来の地域を担うリーダーを育成することを目的としているため、成果指標については生徒が実施した地域貢献活動の回数とする。					
		実績		9	9									
活動指標	各校における地域貢献活動のための協議会開催数	(目標)		(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	本事業は、市町や地域と高校が協働し生徒の実施する取組みを支援するため、地域と高校とが協働で開催する協議会の開催数を活動指標とする。					
		実績		4	4									
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
鯖江高校：地域素材を活用した学習の実施 三国高校：空き家活用プロジェクトの実施 丸岡高校：SDGsや郷土史をテーマにした丸高カレッジの実施 科学技術高校：学科横断的に地域課題に取り組む科技ラボの実施								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

高大連携による地域人材育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉				
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政 策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]								
[解決すべき問題・課題]															
地元大学への理解を深め、高校生の地元大学進学を増加させることが課題である。															
[事業目的]															
高校生が大学での学びを知るとともに、主に地元大学教員や企業・団体の研究員、OB大学生等が探究アドバイザーとして、地元大学への志望が多い高校（拠点校）で課題研究の指導を行うことで、高校や生徒と地元大学とのつながりを密にし、将来的に地域で活躍していく人材を育成する。															
[事業内容]															
○拠点校での探究活動支援 令和3年度から地元大学への進学を希望する生徒を対象とした、地元大学教員による探究活動テーマを対象高校で特設し、年間を通した大学教員からの指導を生徒が受けることで推薦や総合型選抜入試への材料とする。また、拠点校同士は合同発表会で互いの探究活動成果を発表し、同じ進路志望を持った生徒同士の志望動機の強化につなげる。 期 間 3年 対 象 普通科高等学校5校（拠点校：羽水高校、金津高校、大野高校、武生東高校、敦賀高校） 支援内容 探究アドバイザーへの謝金、生徒研究発表会のための運営費															
[受益者] 拠点校の生徒						[想定される受益者数] 約3,200人									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいプレカレッジ事業 (実績) 大学で開催する大学講座に参加した高校生 219名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

高大連携による地域人材育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	—					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	3,413					3,413								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移				3,340	3,413									
2月現計予算額の推移				3,340										
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	3年後の県内4年制大学への進学者(進路実態調査)	(目標)			(1,180)	(1,230)	(1,230)	(1,230)	令和4年度の県内4年生大学への進学者 1,230人 (卒業生6,827人全体に占める割合が2%以上増の18%)					
活動指標	探究アドバイザーによる高校生への指導回数	(目標)			(240)	(350)	(350)	(350)	R2までは高校への大学アドバイザーの訪問回数を目標に設定 ※R2実績はR3.3.19現在の数値 R3からは目標を訪問指導およびオンラインによる研究相談の回数に変更					
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
・探究アドバイザーによる学校訪問および学問発見講座開催回数 100回(見込み)				地域人材育成の観点からターゲットを絞り、県内大学への進学実績の高い5つの高校へ注力する。そのために、学問発見講座を廃止し、探究アドバイザーを拡大して充実する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

ふくいサイエンスプロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営			事業終了年度					7 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政 策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題]												
個性や能力に応じたサイエンス教育を実施し、選択科学技術の発展に寄与できる人材の育成が課題である。												
[事業目的]												
生徒の個性や能力に応じたサイエンス教育を実施し、先端科学技術の発展に寄与できる人材の育成を図る。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ○先端科学を研究している京都大学との高大連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都大学から講師を招聘し講座を開催 ・ 京都大学での講義・実習を開催 ○全国科学オリンピック・科学の甲子園への上位入賞対策 ○ふくい理数グランプリの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校部門(数学、物理、化学、生物、地学)を開催 ○ふくいサイエンス顕彰(南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞) <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生部門(最優秀賞1、優秀賞2、奨励賞2)、中学生部門(最優秀賞1、優秀賞2、奨励賞2)、高校生部門(最優秀賞1、優秀賞2、奨励賞2) ○ふくいサイエンスフェスタの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 福井県合同課題研究発表会および講演会の実施 												
[受益者] 県内高校生						[想定される受益者数] 1,475人(令和元年度に本事業の取組に参加した生徒の総数)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

ふくいサイエンスプロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,981			(諸) 404	2,577	国立研究開発法人 科学技術振興機構委託						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		3,433	3,124	3,122	3,130	2,981	実績に合わせ、事業費を減額					
2月現計予算額の推移		3,433	3,124	3,122	2,200							
決算額の推移		2,143	2,274	2,303								
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	全国科学オリンピック上位入賞者数 (目標)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	本事業を通じて、全国科学オリンピックで上位入賞を果たした生徒・チーム数			
	実績	0	1	2	0							
活動指標	ふくいサイエンスフェスタ参加生徒数 (聴講) (目標)	(220)	(220)	(220)	(220)	(220)	(220)	(220)	本事業を通じてふくいサイエンスフェスタに参加した生徒数 (H29は大雪、R2はコロナ禍で中止)			
	実績	—	377	408	—							
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度ふくいサイエンスフェスタ参加者数：451名 ・令和元年度ふくいサイエンス顕彰受賞者数：20名 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

教員指導力向上推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			□ 補助金								
補助率	—			□ その他								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>社会の変化や技術革新を受け、教員に求められる役割や資質・能力も変化している。教員は、目まぐるしく変化し続ける社会に的確に対応できるよう絶えず学び続け、必要な資質・能力を着実に身に付けていかなければ、子どもたちやその保護者の信頼を得ることは難しくなる。そのために、新学習指導要領や大学入学共通テスト等の新制度に対応した力を持つ教員の育成が必要である。</p>												
<p>[事業目的]</p> <p>新学習指導要領や大学入学共通テスト等の新制度に対応するために、教員の資質・能力の向上を図る。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>○新入試対応指導研修 ・新入試に対応する問題作成力を高めるための研修会（現代文、古文、英語、数学、日本史、世界史、地理、物理、化学、生物）</p> <p>○授業研究会、授業改善研修会への支援（大学教授、先進校講師による授業改善のための教員研修） ・各学校が管理職および授業力向上リーダーによる授業力向上チームを設置し、個々の学校の課題に応じた独自の授業改善案を検討するほか、 ・授業改善に必要な外部有識者を招聘した公開授業や授業研究会等の授業改善計画を策定</p> <p>○生徒の学習意欲等把握調査 ・全県立高校を対象に、進路意識・キャリア教育に関すること、家庭学習・生活に関すること、授業や学習に関すること等を調査 ・調査結果を各学校へフィードバックし、各学校は調査結果を分析・対応策を報告</p> <p>○教育課程研究指定校事業 ・学習指導の改善充実および教育課程の基準改善のために、教育課程や指導方法について調査研究を実施（指定校：若狭高校）</p>												
[受益者] 県立高校の生徒						[想定される受益者数] 約14,800人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高校生学力向上推進事業 (実績) ・授業力向上リーダー研修会の実施 ・新入試対応受験指導エキスパート研修を実施 ・授業研究会、授業改善研修会への支援 ・生徒の学習意欲等把握調査を実施					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

教員指導力向上推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	直営									R2 年度			経過年数
補助率	-									2 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	9,532			(諸) (繰入) 6,919	2,613	【諸収入】教育課程研究指定校事業 211千円 【繰入金】教員指導力向上基金 6,708千円							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				8,469	9,532								
2月現計予算額の推移				6,508									
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	生徒から見た授業のわかる度指数 (目標)			(78.5%)	(78.5%)	(78.5%)	(78.5%)	高校生学習状況調査					
活動指標	新入試対応研修の参加者数 (目標)			(150)	(150)	(150)	(150)	新入試対応研修の参加者数 (R2はコロナ禍で中止)					
	実績			80.4%									
	実績			-									
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
新入試対応研修の参加者数・・・228人 授業研究会への支援・・・16校 70回								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

生徒の進学希望実現支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課		課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]								
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>令和元年度から大学進学者の多い高校における進学対策への支援として必要となる経費を支援しているが、各学校での支援に対し生徒・教員からは好評である。各学校の校長からも大学進学セミナー、受験対策への支援、プレテストの実施は次年度も引き続き実施してほしいと強く要望を受けている。地元大学への合格者数は減っており、個々の学校の生徒の学力に応じたきめ細やかな支援を実施することが必要である。</p>															
<p>[事業目的]</p> <p>生徒の特性・興味・関心にあった進路選択を行えるよう各学年段階において支援を行うほか、生徒の進学希望を実現するために、教員の授業力向上とともに、受験指導力や高校における進学指導体制、生徒への受験対策を強化する。</p>															
<p>[事業内容]</p> <p>○1年生のための大学進学セミナーの開催 高校1年生に対し、保護者も含めた進学指導を実施し、各校の進学指導を支援</p> <p>○地元大学進学希望者に対する受験対策の支援 各学校が自校の実情に応じて予備校講師を招聘し、各校の生徒の苦手分野に特化した教科別講座や、授業進度に応じた講座を実施</p> <p>○大学入学共通テストプレテストの実施 大学入学共通テストに向け、本番の実力発揮に寄与するため、予想される試験会場で模擬試験を実施</p>															
[受益者] 県内高校生						[想定される受益者数] 約21,000人									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高校生学力向上推進事業 (実績) ・1年生対象大学進学セミナーの実施 ・大学進学者の多い高校における進学対策への支援 ・東大生による最難関大学進学講座対策講座の実施 ・大学入試センター福井県プレテストの実施					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況									

生徒の進学希望実現支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	直営											経過年数			2 年
補助率	-														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	8,868				8,868										
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移				8,731	8,868	大学入学共通テストプレテスト受験者数増に伴う会場費の増									
2月現計予算額の推移				6,214											
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	地元国公立大学合格者数 (目標)			(23.0%)	(24.0%)	(24.0%)	(24.0%)	県立高校卒業予定者に対する国公立大学の合格率							
	実績			23.7%											
活動指標	1年生対象大学進学セミナーの参加者数 (目標)			(700)	(700)	(700)	(700)	令和2年度はコロナ禍のため中止							
	実績			-											
[事業の評価]															
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価							
【令和元年度】 1年生の大学進学セミナー参加者数・・・732人 プレテスト申込者数・・・3,252人 地元大学進学希望者に対する受験対策の支援・・・10校65回								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

地域の普通科系高校生向け進学支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>全県1学区制に移行後（H16）は、広範囲の地域から福井市内の県立高校や私立高校に通学（坂井37%、奥越20%）し、地域の高校では欠員が出ている中、地域の普通科系高校に進学し難関大学への進学を希望する生徒への支援を行う必要がある。</p>												
<p>[事業目的]</p> <p>通信型補習や集合型補習等を実施し、地域の県立高校と連携した進学支援体制を確保する。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>○県立普通科高校12校の難関大を目指す生徒を対象に集合型・通信型補習および模試等を実施</p>												
[受益者] 地域の普通科系高校に在籍する難関大学志望生徒						[想定される受益者数] 約180人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

地域の普通科系高校生向け進学支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											1 年		
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,020						1,020							
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						1,020								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	地域12校の難関10大学の 合格者数(現役)	(目標) 実績				(10)	(15)	(15)	藤島、高志、武生に次ぐ進学実績を目標					
活動指標	登録者数	(目標) 実績				(180)	(180)	(180)	約60人×3学年					
[事業の評価]														
前年度の実績					実績を踏まえた令和3年度の変更点					事業評価				
										<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
										<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

既卒生の学習支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]								
[解決すべき問題・課題]															
自宅で勉学に励む県内既卒生の学習環境を整備する必要がある。															
[事業目的]															
県内既卒生の大学進学希望の実現を支援するため、自学自習できる学習環境を整備する。															
[事業内容]															
○福井駅前に大学進学サポートセンターを設置し、自学自習できる学習室において、退職教員が学習を支援する。															
○1～2教科の学習会を実施するほか、模擬試験、進学相談などの支援を実施															
[受益者] 大学への進学を希望する既卒生						[想定される受益者数] 約80人									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高校生学力向上推進事業 (実績) H28 : 77名、H29 : 78名、H30 : 80名、H31 : 78名、R2 : 79名の既卒生がサポートセンターに登録した。					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

既卒生の学習支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	3,312					3,312								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					3,349	3,312								
2月現計予算額の推移					3,349									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	大学進学サポートセンター登録者の大学入試合格率 (目標) 実績				(57.0%) 53.2%	(58.0%)	(59.0%)	(60.0%)	R2実績はR3.3.19現在の数値					
活動指標	大学進学サポートセンター登録者数 (目標) 実績				(55) 79	(55)	(55)	(55)						
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・サポートセンター登録者数は例年の水準を維持 ・令和元年度登録者の大学入試合格率は上昇 (57.7%) 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

高度な職業教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H28 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営			事業終了年度					6 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題]												
離職率の低減を目的に体験活動を通して、就労意識の向上を図り、的確な職業選択ができる能力を育成する必要がある。												
[事業目的]												
地元就職する高校生が産業界で活躍できるスキルアップを応援するために、社会から求められるニーズや技術進展に対応した実践的な専門教育の充実を図る。												
[事業内容]												
企業の生産現場における実践的な実習等を実施し、地元就職する高校生が産業界で活躍できるよう支援												
<ul style="list-style-type: none"> ○実践的な専門教育 <ul style="list-style-type: none"> ・長期企業実習およびデュアルシステムを職業系高校で実施 ○県内企業への就職促進 <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業でのインターンシップを職業学科・総合学科設置校13校、定時制7校、就職者の多い普通科設置校7校の2年生を中心に実施 ○産業人材コーディネーター <ul style="list-style-type: none"> ・就職支援のため、求人開発や就職指導を行う産業人材コーディネーターを配置 												
[受益者] 職業系高校の生徒および就職希望の生徒						[想定される受益者数] 約1,300人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井フューチャーマイスター事業 (役割分担) 本事業では、インターンシップの実施等による就業支援を行う。福井フューチャーマイスター事業では、資格取得の推進など就職に向けた知識・技術の習得を支援する。					
市町との連携状況						他県の状況						

高度な職業教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	14,262	3,618				10,644	教育支援体制整備事業費補助金					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			19,610	16,503	16,724	14,262	産業人材コーディネーターの勤務実績に合わせ、事業費を減額					
2月現計予算額の推移			14,975	12,808	11,853							
決算額の推移			13,953	11,177								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	高校卒業者の離職率	(目標) (99.5%)	(99.5%)	(99.5%)	(99.5%)	(15.0%)	(15.0%)	(15.0%)	R元までは高校卒業者の就職率を目標に設定 R3からは高校卒業者の離職率に目標を変更して設定			
		実績 99.8%	99.9%	99.9%								
活動指標	インターンシップ体験者数	(目標) (1,900)	(1,900)	(1,900)	(1,900)	(1,900)	(1,300)	(1,300)				
		実績 1,937	1,886	1,869	385							
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・長期企業実習参加生徒数：87名 ・デュアルシステム参加生徒数：6名 ・インターンシップ参加生徒数：のべ1,869人 ・令和2年度はコロナ禍のため、インターンシップを縮小 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井フューチャーマイスター事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	1/3、1/2													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]							
[解決すべき問題・課題]														
より高度で専門的な知識・技術を生徒に習得・定着させるためには、マイスターや高度技術者等による技術指導が必要である。														
[事業目的]														
職業系高校の生徒を対象に、専門知識と技術の習得の証である資格・検定の取得を支援することにより、将来の地域の産業・社会の発展に寄与し科学技術の進展や産業構造の変化等に対応できる職業人の育成を目指す。														
[事業内容]														
○高度技術者による職業人育成 県内企業等から高度技術を有する技術者等の招聘を行い、生徒の専門知識・技術の修得を支援														
○福井フューチャーマイスター事業 資格取得の受検料を補助し、資格の難易度、取得数の応じ、プラチナ、ゴールド、シルバー、ブロンズの4グレードで「福井フューチャーマイスター」を認定														
[受益者] 職業系学科生徒数						[想定される受益者数] 約5,600人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高度な職業教育推進事業 (役割分担) 高度な職業教育推進事業では、インターンシップの実施等による就業支援を行う。 本事業では、資格取得の推進など就職に向けた知識・技術の習得を支援する。								
市町との連携状況					他県の状況									

福井フューチャーマイスター事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率	1/3、1/2					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	9,601	351			9,250		教育支援体制整備事業費補助金							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			11,000	11,438	10,895	9,601	一部事業の移管に伴い減額							
2月現計予算額の推移			11,000	11,438	10,895									
決算額の推移			8,300	9,305										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	福井フューチャーマイスター認定率 (目標)	(1,650)	(86.0%)	(86.0%)	(86.0%)	(87.4%)	(89.4%)	(91.4%)	H29までは認定者数を目標に設定 H30以降は認定率へと目標設定を移行					
	実績	1,789	87.0%	87.2%	86.7%									
活動指標	(目標)													
実績														
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
○福井フューチャーマイスター認定者 プラチナ 81名、ゴールド 800名、シルバー 454名、ブロンズ 389名								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

協働型産業人材育成プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R1 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]							
[解決すべき問題・課題]														
職業系高校への志願者数が減少しているため、各高校では地域と連携した特色ある活動を実施し、職業学科の魅力を発信していく必要がある。														
[事業目的]														
職業系高校の生徒が、地元産業界等と協働し実践的な学習活動を行うことで、将来の地域の産業・社会を担い発展に寄与する人材を育成するとともに、科学技術の進展や産業構造の変化等に対応できる次代の福井の産業を担う職業人を育成する。														
[事業内容]														
○職業学科の魅力発信プロジェクト 職業系高校において多様な県内企業と連携した特色あるプロジェクト活動を実施														
○ふくい産業教育フェア 職業系学科の学習成果や内容を広く県民にPR														
[受益者] 職業系学科生徒数						[想定される受益者数] 約5,600人								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

協働型産業人材育成プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務						
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,495				5,495							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			4,898	4,901	5,495	一部事業の移管に伴い増額						
2月現計予算額の推移			4,898	4,901								
決算額の推移			4,344									
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	職業系高校生徒の県内就職率	(目標)	(92.0%)	(92.0%)	(92.0%)	(92.0%)	(92.0%)	本事業を通じて各学校が多くの企業と繋がり、それらの企業に生徒が就職し福井を支える人材となることから、成果指標を県内就職率とする。				
		実績	90.9%									
活動指標	職業系学科魅力発信プロジェクト実施数	(目標)	(13)	(13)	(12)	(12)	(12)					
		実績	13	13								
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
次代の産業人材育成検討会議 15回開催 職業系学科の魅力発信プロジェクト 13回開催				・ふくい産業教育フェア 全国大会を見据え、10月下旬頃に開催				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

先端技術を取り入れた教育力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政 策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]							
[解決すべき問題・課題]														
Society5.0に向けて技術革新が進む中、職業系高校で教える内容や技術も進展しており、それに対応できるよう教員の資質向上を図る必要がある。														
[事業目的]														
教員が最先端の専門知識や技術を学ぶことができるよう県内外における研修を実施し、教員全体の資質向上と学校の活性化を図るとともに、地元民間企業の技術者等による講義や技術指導を実施し、高度な知識・技術を取り入れた実践的内容の授業を展開する。														
[事業内容]														
<p>○職業系学科の担当教員を県内・県外の試験研究機関、民間企業等に派遣し研修を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業、農業、水産、家庭、商業の職業系科目を専門とする教員や実習助手が対象 ・県内、県外の試験研究機関、民間企業、高等学校等で研修し、最新の専門知識や技術を習得 ・工業、農業、水産、家庭、商業から選出 ・県内研修：夏期休業中等の5日間程度、県外研修：最大5日間程度 ・研修成果の教育現場への還元（高教研各部会等での研修報告や部会誌での報告書掲載、研修で学んだことを取り入れた副教材の作成 等） <p>○高度技術を扱う地元民間企業の技術者と教員が連携して教材研究や授業研究を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度技術を有する人材を招聘し、職業学科における教員および生徒の専門的知識と技術の習得を支援 ・週1回2時間の講義および技術指導を年間5回実施 														
[受益者] 職業系学科担当教員						[想定される受益者数] 9名								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 職業系学科教員授業力向上事業 (実績) ・平成24～26年度：参加教員実績 のべ200人の教員が参加					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

先端技術を取り入れた教育力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H24 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	677			(繰入) 677	0	教員指導力向上基金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			556	556	1,381	677	特別教員による先端授業の回数を縮減					
2月現計予算額の推移			330	280	1,054							
決算額の推移			274	255								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								職業系学科教員の技術・技能の向上を定量的に把握することは困難である			
活動指標	派遣研修参加教員数 (目標) 実績	(9) 7	(8) 9	(8) 8	(9) 9	(9)	(9)	(9)	本事業を通じて研修を受けた教員数 60名			
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
・令和2年度：9名 農業・工業・商業・水産・家庭・福祉 県内3日 4名 県外5日 5名 ・特別教員による先端授業 技術者による年3回の講義、技術指導				・特別教員による先端授業 技術者による年5回の講義、技術指導				<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額	

高校生起業家育成プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課		課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政 策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]								
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>少子高齢化により労働力人口が減少する中、福井県の経済活性化を図るためには、本県の将来を担い牽引する若い起業家を育成し、新たな視点からビジネスを創出する必要がある。</p>															
<p>[事業目的]</p> <p>県内高校生を対象に就職、進学以外の進路選択の一つとして「起業」に関する知見に触れる機会を設け、チャレンジ精神や探究心等の「起業家精神」と情報収集・分析力、判断力、コミュニケーション力等の「起業家的資質能力」を育成する。</p>															
<p>[事業内容]</p> <p>○県独自のビジネスアイデアコンテスト開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテスト参加に向けたプラン作成の指導・助言を行う人材を派遣し、作成を支援 ・各参加チームによる15分程度のプレゼンを実施し、審査員による採点・評価を実施 ・最優秀賞については「ふくい産業教育フェア」において表彰し、他の生徒にも起業家育成の取組みをPR 															
[受益者] 県立高校（全日制）の生徒						[想定される受益者数] 約14,000人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

高校生起業家育成プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											2 年		
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	695					695								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					1,299	695	ふくいの産業・デジタル教育講座事業に起業家による講演を組み入れたため、講演会にかかる事業費を減額							
2月現計予算額の推移					1,299									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	県独自のビジネスアイデア本選参加チーム数				(5) 5	(6)	(8)	(10)	コンテスト本選参加チームは応募シートから評価の高いチームであり、本選出場枠を成果指標とする。なお、エントリー数の1%を最終の起業家目標数とする。					
活動指標	ビジネスアイデアコンテストのエントリー数				(100) 144	(150)	(170)	(200)						
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
・ビジネスアイデアコンテストの周知を徹底したため、活動指標・成果指標ともに目標を達成した。				・コロナ対応を踏まえて、講演会についてはふくいの産業・デジタル教育講座事業においてオンラインで開催する				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

未来の産業教育ブーストアップ事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]							
[解決すべき問題・課題]														
第4次産業革命の進展、DX、6次産業化等、産業構造・仕事内容は急速かつ絶えず革新しており、地域の持続的な成長を牽引するための職業人育成システムの構築が必要である。														
[事業目的]														
県立学校の職業系学科において、新技術やDXなどの産業構造の変化に対応し、成長産業の創出や地域産業の牽引ができる人材の育成を図る。また、地域企業や大学と連携した実習や研究を通して更なる魅力向上を図り、県内外の中学生から選ばれる県立高校を目指す。														
[事業内容]														
○大学・企業等と連携した共同研究や商品開発														
○民間企業技術者や企業の施設・設備を活用した最新技術の学習														
○スマート農業・漁業など最先端技術を実践的に学ぶインターンシップ														
○学会や海外での研究発表会														
[受益者] 若狭高校海洋科学科および坂井高校の生徒						[想定される受益者数] 約900人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

未来の産業教育ブーストアップ事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	15,452					15,452								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						15,452								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	商品化された研究数 (目標) 実績					(0)	(4)	(12)	企業や大学と連携し開発した製品・システムの中で商品化された数を指標とする。事業終了後の2023年の目標を(2)とする。					
活動指標	企業技術者等による授業 数 (目標) 実績					(50)	(50)	(50)	外部人材を活用した授業数を指標とする。					
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

ふくいの産業・デジタル教育講座事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等	[福井県教育振興基本計画]						
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>Society5.0の時代において、産業分野の融合や新産業の創出など社会が大きく変化し行く中で、学校教育においては、依然として農業、工業、商業などの枠組みでカリキュラムが編成されている。経済発展と社会的な課題を解決する新たな価値を生み出し、社会に貢献することができる人材を育成するため、大学科の枠を超えたカリキュラム編成等が必要</p>												
<p>[事業目的]</p> <p>令和4年度新教育課程実施にむけて、シームレスな産業構造に対応した、福井県独自の職業学科共通科目「ふくいの産業」(仮)の新設、および情報教育の充実を図るために、すべての職業系高校において外部講師による授業や研究会を先行実施する。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>○職業学科共通で福井の産業について学ぶために、外部人材による授業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域産業の現状や行政および先端企業の取組を学ぶために、経営者・技術者や行政担当者等を講師に招いた授業を実施 ・外部講師による授業を、全ての県立高校においてオンラインで視聴できるようにライブラリーを構築 <p>○産業界が直面する様々な変化に対応する情報教育を行うために、専門家による授業・実習を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新の情報教育を行うため、情報の専門家をアドバイザーに迎え、各職業学科の情報担当者による研究会を開催 ・AIやIoT、高度なWebデザインについて、大学や企業など外部人材の活用した授業を実施 												
[受益者] 県立高校(職業系)の生徒						[想定される受益者数] 約5,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

ふくいの産業・デジタル教育講座事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											1 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	689			(繰入) 62	627	教員指導力向上基金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						689								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	県内企業への就職率 (目標) 実績					(91)	(91)	(91)	職業系高校の県内企業への意識をさらに高め、県内企業への就職率を県平均以上を目標に設定する。					
活動指標	外部講師授業数 (目標) 実績					(40)	(45)	(50)	各学校で福井の産業に関する外部講師授業2回、情報に関する外部講師授業2回を活動指標とする。					
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

英語力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営、補助														
補助率	定額、1/3、1/2														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす(人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]								
[解決すべき問題・課題]															
コミュニケーションを重視した英語力の充実															
[事業目的]															
生徒の英語コミュニケーションの機会を充実させることにより、「使える英語力」を育成する英語教育を実践する。															
[事業内容]															
<ul style="list-style-type: none"> ○高校生外部検定試験補助事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ G T E C、全商英検等の受験料を補助 ○高校生海外語学研修 ○友好提携都市との交流 <ul style="list-style-type: none"> ・ 友好提携都市(ドイツや中国)の学生と交流し、友好交流を促進 ○外国語ディベート力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 福井県英語ディベート大会の開催 ・ 全国大会出場生徒に対し、参加費用および旅費を補助 ○留学促進事業 ○留学生受入促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 留学生を受け入れるホストファミリーに対して、受入れにかかる経費を支援 															
[受益者] 県内高校生						[想定される受益者数] 約21,000人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

英語力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H23 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	定額、1/3、1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	48,443	3,300		(諸) 12,250	32,893	国際文化交流促進費補助金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	107,237	132,102	89,971	84,328	48,443	語学研修の縮減および一部事業の令和2年度への前倒しに伴う減額						
2月現計予算額の推移	104,608	110,301	80,897	25,223								
決算額の推移	99,102	107,389	34,794									
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	高校卒業時に求められる英語力達成率(%)	(目標) 52 (実績) 52	(50) 52.5 (56.0) 56.0	(56.0) 58 (60) —	(60) — (61) —	(63) — (65) —	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査なし					
活動指標	中高英語教員対象研修実施回数(回)	(目標) 8 (実績) 8	(8) 8 (8) 8	(8) 8 (8) 8	(8) 8 (8) 8	(8) 8 (8) 8						
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
令和元年度公立高等学校における英語教育実施状況調査において生徒・教員の英語力ともにトップとなった。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

外国人生徒支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉				
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	直営、補助														
補助率	1/2、10/10														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画、福井県多文化共生推進プラン]								
[解決すべき問題・課題]															
日本語指導が必要な外国人生徒増加への対応															
[事業目的]															
日本語指導が必要な生徒に対する支援体制を強化し、外国人生徒の教育の充実を図る															
[事業内容]															
<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションサポーターの配置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員、生徒、保護者間の日本語によるコミュニケーションの補助 ○双方向通訳機 (ポケトーク) の配備 <ul style="list-style-type: none"> ・ ポルトガル語、タガログ語等 5 5 言語に対応した翻訳機を日本語指導が必要な外国籍生徒が在籍している学校に整備 ○日本語能力検定試験受験料補助 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国籍生徒で日本語指導が必要な生徒に対して日本語能力検定の受験料を補助 															
[受益者] 県立高校に在籍する外国籍高校生						[想定される受益者数] 約70人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況									

外国人生徒支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											経過年数		
補助率	1/2、10/10											2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	229				229									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						229	令和2年度はコミュニケーションサポーター（会計年度任用職員）の配置のみ 令和3年度は双方向通訳機の配備および受験料補助を拡充							
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	コミュニケーションサポーターを配置した人数 (目標) 実績				(2) 2	(4)	(6)	(9)						
活動指標	コミュニケーションサポーターと連絡協議会の開催(回) (目標) 実績				(2) 2	(2)	(2)	(2)						
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
コミュニケーションサポーターを2校へ配置し支援を行った。				外国籍の生徒の増加に対応するため、配置校および配置人数を増加				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 604			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

特別支援教育に関する支援体制充実事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	810				810									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					810	810								
2月現計予算額の推移					810									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	特別支援教育に関する指導・助言可能な市町教委担当者数 (目標) 実績				(2) 3	(2)	(17)	(17)	所管学校における特別支援教育に関する確認事項について理解し、支援体制について指導・助言できる市町教育委員会特別支援教育担当者数					
活動指標	連絡協議会の開催数 (目標) 実績				(3) 3	(3)	(3)	(3)	市町教育委員会指導主事が支援体制に関して協議、共通理解をする連絡協議会					
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援体制専門員による市町と連携した学校訪問と市町への指導・助言 ・ 特別支援教育担当者連絡協議会の開催 年3回 ・ 発達検査等の活用について、各市町へ支援・助言 ・ 通級による指導担当者研修会の開催 年2回 ・ 移行支援に関する研修会 2会場にて開催 ・ 保護者理解啓発のためのリーフレット作成、配付 (8,000部) 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

特別支援教育専門性向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]							
<p>[解決すべき問題・課題]</p> <p>特別支援学校に経験年数が浅い教員や特別支援学校教諭免許状を保有していない教員が所属しており、その専門性に格差が見られる。 また授業改善の推進やICT機器を活用した指導力向上のほか、特別支援学校教員による専門性の高い指導・支援や、特別支援教育コーディネーターによる教育相談の質の向上が求められている。</p>														
<p>[事業目的]</p> <p>多様な障がいに対応するための専門的な知識の習得や、実践的な指導力の向上を目指した研修等をとおして、特別支援学校等の教員の専門性を高める。</p>														
<p>[事業内容]</p> <p>○特別支援学校教諭免許状保有率の向上 ・免許法認定講習の実施</p> <p>○新学習指導要領に対応した授業改善およびICT機器を活用した指導力の向上 ・授業改善研修およびICT活用推進会議の実施 ・ICT機器活用実践集の作成</p> <p>○多様な障がいに関する専門的知識および支援や相談スキル等の習得 ・外部専門家研修の実施 ・教育相談研修の実施</p>														
[受益者] 特別支援学校の児童生徒、教員						[想定される受益者数] 約1,500人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 特別支援教育に関する支援体制充実事業 (役割分担) 特別支援教育に関する支援体制充実事業では市町および小・中・高校における支援体制の充実を図る。 本事業では、主に特別支援学校の教員を対象とし、教員の知識習得・指導力の向上を図る。							
市町との連携状況						他県の状況								

特別支援教育専門性向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	直営									R2 年度			経過年数
補助率	-									2 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,056	214		(繰入) 644	1,198	【国庫】教育支援体制整備事業費補助金 【繰入金】教員指導力向上基金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分	分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					2,193	2,056							
2月現計予算額の推移					1,417								
決算額の推移													
前年度までの主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区分	分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	特別支援学級における特別支援学校教諭免許保有率	(目標)			(60%)	(60%)	(70%)	(80%)	福井県教育振興基本計画				
		実績			55.9%								
活動指標		(目標)											
		実績											
[事業の評価]													
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援学校の相談受理数：1,345回 ・ 外部専門家による巡回相談、研修回数：48回 ・ 特別支援学校小・中学部へのタブレット端末整備数：303台 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

特別支援学校キャリア教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [1 学びを伸ばす (人材力)] 政策 [1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県教育振興基本計画]							
[解決すべき問題・課題]														
<p>農業分野の実習や雇用の受入先業が少なく、作業体験活動等を通して、サポーター企業等の開拓および活用をしていく必要がある。また、校内の作業学習の内容は製造系が中心であるため、就職先の職種に合ったサービス系の学習の充実が求められている。</p>														
[事業目的]														
<p>農業体験など地域との連携・協働により、特別支援学校児童生徒の就労・学習意欲や職業スキルを向上させるなどキャリア発達を促進する。</p>														
[事業内容]														
<p>○農業法人等による技術指導や校外での農業体験実習により、特別支援学校中・高等部生徒の就労意欲および職業スキルを向上</p> <p>○特別支援学校中・高等部における作業学習の見直し、喫茶業協同組合等の協力を得ながら喫茶サービス技能検定の導入を検討</p> <p>○特別支援学校小・中学部の児童生徒が、地域における社会体験活動など積極的な社会参加をすることにより、ライフキャリアの発達を促進</p>														
[受益者] 就労を希望する知的障がいのある特別支援学校中・高等部生徒						[想定される受益者数] 約100人								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 特別支援学校就労応援事業 (実績) サポーター企業による技術指導 (国庫委託事業中止のため実績なし)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

特別支援学校キャリア教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	油谷 泉			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											2 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,736					2,736								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					3,011	2,736	一部事業の実施校数見直しに伴い、事業費を減額							
2月現計予算額の推移					191									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	農業体験実習受入企業等 数 (目標) 実績				(6) 7	(9)	(9)	(12)	農業体験実習受入れや技術指導等の協力を得られた企業等数					
活動指標	農業体験活動参加生徒 数 (目標) 実績				(100) 79	(120)	(120)	(150)	農業班で学習する生徒のうち、本事業で校外での農業体験活動に参加した生徒数(延べ)					
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業体験実習を知的障がい特別支援学校6校にて9回実施 ・ 喫茶サービス導入検討会議を年1回開催 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業体験実習実施回数の拡充(6校にて延べ18回) ・ 喫茶サービス導入検討会議の開催回数を拡充(年2回) 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				